

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月27日	記入者	山下	連絡先	5184
平成18年度部名	学校教育部	課名	学校教育課	課長名	小塚牧夫
平成19年度部名	学校教育部	課名	学校教育課	課長名	佐藤陽一
事務事業名	障害児教育推進事業				
予算上の事務事業名	障害児教育推進事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14120		
基本目標	I 「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造				
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	対策 ▼		5 事業開始年度	▼	
6 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)	
一人ひとりの障害に教育内容・方法の研究や交流教育の実践的研究等を行い、障害児教育の充実を図る。				障害等により、教育的配慮を必要としている児童・生徒及び障害児学級等担当教諭等	
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。					
障害児教育研修会 7回 (5/8、5/17、6/6、7/26、12/12、1/26、3/16) 合同宿泊訓練 1回 (11/24、25 相模川自然の村ビレッジ若あゆ)					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 <span style="float:right">〔単位：千円〕</span>					
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	3,575	3,938	1,189	30,687	30,687
一般財源	3,575	3,938	1,189	30,687	30,687
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	0	0	0	0
事業コスト合計	3,575	3,938	1,189	30,687	30,687
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	合同宿泊訓練			対象名称 と単位	特別支援 (生徒)
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	673	670	1,013	1,013	1,013
対 象 数	141	127	153	166	166
単位あたり経費(円)	4,773	5,276	6,621	6,102	6,102
前 年 度 比		1.11	1.26	0.92	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	自然の中での集団生活により 良き生活態度を育成する合宿 訓練	指標式と 指標の説明	教育的配慮を要する生徒が必要とする教育環境訓練に対 応／特別支援（生徒）数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	健康と体力の増進を図りつつ 適切な自立的集団生活の実現	指標式と 指標の説明	適切な教育訓練を必要とする生徒数／自立的な集団生活 の実現を必要としている生徒数×100		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	100.0	100.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト削減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		特別支援教育の取組みとして、通常の学級に在籍しており、発達障害等で不応を起している児童生徒への支援や、校内の支援体制を確立していくために支援教育学習指導補助員の配置を行っていく。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
補助員等を配置することで、個別の対応が可能となり、情緒的にも落ち着いて学校生活が送れるようになるとともに、学習への意欲も高まり、教室での授業に参加できるようになる。また、クラスの周囲の子どもが安心して過ごせるようになり、授業にも集中できるようになる。			・合併に伴う参加人数増により、施設対応が難しくなること ・藤野地区の生徒に対する送迎に時間がかかる。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		今後とも支援の必要な子どもの状況に応じた教育の推進に努める。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			